

令和3年7月13日

静岡市長

田辺 信宏 様

静岡市議会 志政会

代表 佐藤 成子

本市の危機対応力強化についての申し入れ

～新型コロナウイルスワクチン接種および熱海市における土砂災害について～

東京では4回目の非常事態宣言が発令されるなど、未だ収束を見通せていない状況が続いている新型コロナウイルス感染症については、現在全国的にワクチン接種が進められ、本市においても今後12歳～64歳の接種が始まっていきます。

スケジュール遵守に向けた取り組みはもちろんのこと、ワクチン接種が進んだ後についても、更なる変異株流行の懸念や、ワクチンの継続的な接種が必要となることから、今後活かせる体制づくりは不可欠です。

また、7月2日に発生した熱海市における土砂災害では、復旧作業も困難を極め依然不明者もいる状況の中で、本市としては、復旧・復興への協力・支援に全力をあげながら、一方でこれを他人事と捉えず、本市においても同じようなことが起こらないような対策、災害発生時の迅速な対応、また他都市への災害支援中において、本市通常業務に支障をきたさない体制づくりが重要です。

つきましては、静岡市の危機に対する対応力を強化し、市民の不安を解消し安心安全な市民生活につなげていくため、それぞれについて下記の対策を行って頂きたいと、申し入れを行います。

記

1. リスクに強い体制づくりについて
2. 新型コロナウイルスワクチン接種について
3. 熱海の土砂災害を受けて今後の静岡市の対応について

以上

リスクに強い体制づくりについて

甚大な被害を伴う自然災害、新型コロナウイルスをはじめとするパンデミックなど深刻な危機が頻発する今日、市民の生活や地域経済を守り、地域を継続していくための体制づくりが強く求められている。

危機に際し、その被害の軽減や、その後の応急対策には、初動対応が非常に重要になるため、静岡市の緊急事態に対し、危機管理部門が初動期から主導する、真にリスクに強い体制づくりを求める。

新型コロナウイルスワクチン接種について

1. 市民へのわかりやすい情報発信力の強化

- ①接種券の発送、予約方法／空き状況、接種などのスケジュールに関する情報
- ②子どもや基礎疾患のある方の注意事項、副反応の情報、接種後の抗体についての情報
ワクチン接種に対する誤った情報認識防止のための正しい情報発信
- ③接種に関する進捗度合い（予約率や接種率など）

2. ワクチン接種に関わる関係組織との連携強化

- ①国や県からのワクチン配布等に関する情報収集・確定情報後の迅速な対応と関係組織との連携
- ②医療機関をはじめ関係組織との連携により、計画通りの医療従事者等の人員確保
- ③コールセンター・予約サイトをはじめ円滑な予約体制の構築

3. 市独自の市内企業の職域接種に対する支援

- ①産業医の常駐していない中小企業などへの職域接種支援
業種による優先順位をつける等、特設接種会場等への予約斡旋
- ②勤労者が接種しやすい平日の17時以降や土日の接種体制強化

4. ワクチン接種の強制や差別が起きないようにする取り組み

- ①SNSや広報誌を活用した、日常的な啓発活動や相談窓口の強化
特に医療従事者・介護従事者、職域接種企業等も含めた取り組み
- ②ワクチン接種に対する強制や差別のみならず、多くの誹謗中傷を防止するための条例制定の検討

熱海の土砂災害を受けて

1. 職員の災害地派遣に関すること
 - ①災害地への応援派遣職員の健康管理
 - ②派遣により危惧される通常業務の継続性の確保

2. 熱海の土砂災害の調査研究と対策
 - ①市内の対象造成地の迅速な調査と対策
 - ②最終処分場を含め危険箇所の調査
 - ③廃棄物不当投棄への厳正な対応

3. 災害時における受援体制の強化
 - ①パンデミックを想定した他都市からの応援職員・ボランティアなどの受援体制の構築。

4. 緊急事態における情報に関すること
 - ①特に避難情報発信の基準の明確化・情報発信の多重化
 - ②被災情報や市民ニーズに関する情報収集の強化